大臨技ニュース
〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
TEL.06-6647-3454　FAX.06-6644-1128
社団法人　大阪府臨床検査技師会
発行責任者：森嶋 祥之
大臨技ホームページＵＲＬ
http://www.osaka-amt.or.jp/

お 知 ら せ

大臨技緊急集会のお知らせ

大臨技におきましては会員への周知事項として下記要項で緊急集会を開催することと致しました。当会会員はもちろんのこと関連各位にも広く参加していただきますよう、ご案内申し上げます。

真空採血管を用いた採血法に関しては7月1日付けでJCCLSより標準採血法ガイドラインが発表されました。このガイドライン策定の経緯と詳細についてJCCLS標準採血法検討委員会委員の朝山均日臨技副会長に解説をお願いし、採血法の標準化に向けて大いなる前進を計りたいと思います。

また、最近では特に輸血事故を含めた医療事故報道が相次いでいることから、日臨技は全国の病院・施設に対し輸血事故防止への体制やマニュアルの確認と見直しを緊急要請しました。輸血事故防止について学術部移植検査部門の金光靖部門長に解説をお願いし、業務改善と事故防止の啓蒙を計りたいと思います。

日　時：平成16年9月6日(月) 18：30～19：45
場　所：あべのメディックス7階 研修室B
評価点：A－10点
参加費：無料
連絡先：大臨技副会長 今井 宣子
（大阪大学医学部附属病院 臨床検査部）
ＴＥＬ：06-6879-6661
E-mail：imai@osaka-amt.or.jp

内　容

第一部／テーマ：標準採血法ガイドライン
講　師：JCCLS標準採血法検討委員会委員
朝山 均

第二部／テーマ：輸血事故防止のために
講　師：大臨技学術部移植検査部門長
金光 靖

① 標準採血法ガイドラインとは

従来の真空採血管に対する考えにおいて、その内容物が被採血者に逆流することはないとされていた。しかし適切な手順で採血を行わなかった場合には、採血管内の内容物や細菌等が逆流し、被採血者の体内に入る可能性があることを示唆する報告が、昨年10月に出され、論議を呼んだ。

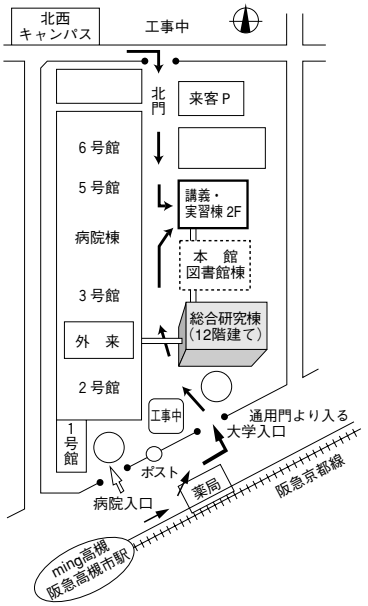
これを受けて、日本臨床検査標準協議会（JCCLS）では、本年2月に臨床検査医学会をはじめ日本臨床検査技師会、日本看護協会、日本医療器材工業会真空採血管WG等を構成員とする「検討委員会」を設置し、標準採血法について検討してきた。その結果、7月1日に策定されたのが「標準採血法ガイドライン（第1版）」である。

※日臨技ホームページ（http://www.jamt.or.jp）に「標準採血法ガイドライン(第1版)」のポイント(ガイドライン抜粋）が掲載されています。

第16回 大臨技北支部自由集会のご案内

今年度の北支部の２回目の行事となる自由集会は、１回目の講演会と同様に講堂にて行います。身近な話題や面白い話題を皆で持ち寄って盛り上げたいと考えています。話題提供として、以下の２題をご用意しましたが、あなた自身の経験や悩みなどもお聞かせ下さい。気軽にご参加ください。

日　時：平成16年10月２日(土) 15：30～18：00
場　所：大阪医科大学（高槻市大学町２－７、阪急高槻市駅すぐ）
　　講義・実習棟２階 第１講堂（学１講堂）
内　容：演者１.「一般検査のピットフォール」
　　シスメックス株式会社 宮前 英治
２.「ベトナムをルポする」ー医療事情と食を探るー
　　高槻赤十字病院検査部 井野上 章
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：Ｂ－10点（会員カードをご持参ください）
連絡先：北支部長 米田 孝司（国立循環器病センター 臨床検査部）
　　ＴＥＬ：06-6833-5012（内線 8436）
　　E-mail：kyoneda@hsp.ncvc.go.jp



●第15回 大臨技北支部生涯教育講演会に参加して……大阪医科大学中央検査部 東山 智宣

６月に行われた北支部の行事（講演会）は、いつもの学生食堂での軽食しながらという形式ではなく、講堂での開催となりました。そのためか、いつもの顔ぶれとは少し違った方々も参加されているようでした。

ひとつめの内容としては、「患者様に喜ばれるリアルタイム診療」という題でメーカーの方が、実際に患者として入院した時の経験をもとに、迅速性という視点から見た場合の臨床検査の問題点や理想像について、ユーモアも交えて興味深い話をされました。

ふたつめは、「病院にリストラの嵐が…あなたは生き残れる技師ですか、それとも…」という題で、検査業界の厳しい人員整理の渦の中で、ひとりひとりの技師がどういう意識をもって仕事に取り組んだら良いのかについて、検査科科長としての立場からのアドバイスをされ、参考になりました。

また講演会終了後には、恒例の居酒屋での２次会があり、やっぱりお互いの懇親が一番だと、参加し有意義な時間を過ごさせてもらいました。

中 央 支 部 自 由 集 会 の お 知 ら せ

近年、医療を取り巻く情勢は大変厳しい状況になってきております。

中央支部も、そういった状況の中で、我々検査技師がどのような生き残り策を考えていけば良いのかを大きなテーマとして取り上げ、事業を行ってまいりました。

ブランチ、FMSといったアウトソーシングが叫ばれる中、エコー検査を始めとした生理検査室の拡充、中央採血室または病棟への検査技師の派遣、病院全体としての各種委員会（クリニカルパス、リスクマネージメント等）への参加等について色々な角度から考えてまいりました。そこで今回は、質の向上について勉強していきたいと考えています。技師の皆さんは、自分の専門については日々勉強をされている事と思いますが、それぞれの疾患について又は患者さんの症状においてどのような検査がオーダーされ、その結果をどのように読めばよいのか、また、パニック値についてどのように理解をすれば良いのか考えられたことは無いでしょうか…？

つきましては、今回、腹痛と胸痛をテーマとして取り上げ講演して頂くことになりました。自分の専門分野から少し離れ検査全般について考えてみる機会はあまり無いと思いますので、この機会に是非参加をされ勉強して頂きますようご案内申し上げます。

日　時：平成16年10月６日(水) 18：30～20：30
場　所：大阪市立大学医学部学舎 ４階 中講義室
内　容：腹痛と胸痛について、検査データの読み方考え方
講　師：「腹痛について」
　　大阪府済生会野江病院 消化器内科部長 早雲 孝信
　　「胸痛について」
　　阪奈病院 中央検査科 技師長 山脇 浩司
評価点：Ａ－10点（会員カードをご持参下さい）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
連絡先：市立枚方市民病院 西 時男
　　TEL：072-847-2821
　　大阪府済生会野江病院 森 啓悟
　　TEL：06-6932-0401

学術部 感染・免疫検査部門からのお知らせ

疫学検査分野

第2回 定期講習会

日　時：平成16年9月29日(水)
　　18：30～20：00
場　所：大阪市立大学医学部
　　4階 中講義室
テーマ：腸内フローラと腸管出血性大腸菌O157
講　師：大阪市立大学大学院
　　生活科学研究科 助教授
　　西川 禎一
参加費：会員 500円､非会員 3,000円
評価点：Ｃ－10点
連絡先：㈶大阪市環境保健協会
　　検査室　福山 博文
　　TEL：06-6245-7982
　　E-mail：
　　yuka6-16@zeus.eonet.ne.jp

ウイルス検査分野 定 期 講 習 会

上気道感染のシーズン到来を前に、各簡易キットを用いた迅速検査の有用性についてご講演を戴きます。

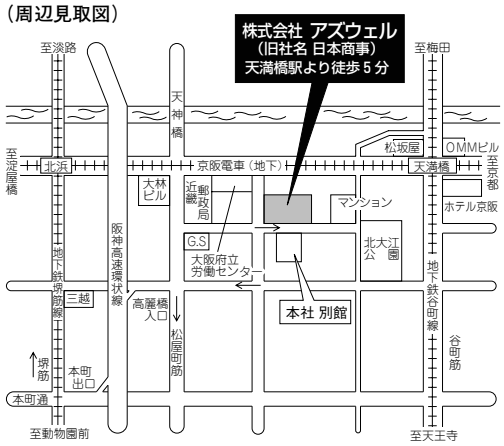
日　時：平成16年9月30日(木) 18：30～20：00
場　所：大阪医療技術学園専門学校
テーマ：「上気道感染の簡易キットによる迅速検査」
　内容１：抗マイコプラズマ抗体（IgM）
　　講師：株式会社ﾃｲｴﾌﾋﾞｰ技術開発部 ﾃｸﾆｶﾙｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 福島 靖恵
　２．インフルエンザウイルス
　　講師：富士レビオ株式会社 商品開発部　皆川 英孝
　３．アデノウイルス
　　講師：株式会社アズウェル 大阪支店 診断薬グループ 横川 禎一
　４．ＲＳウイルス
　　講師：日本ベクトン･ディッキンソン株式会社 学術情報部 國見 昌生
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：Ｃ－10点（会員証をご持参下さい）
連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部　岡田 和敏
　ＴＥＬ：072-366-0221（内線 2187）
　E-mail：kz-okada@kensa.med.kindai.ac.jp

＊＊＊＊＊ 微生物検査分野 定期講習会 ＊＊＊＊＊

微生物検査は検体採取・検体保存から始ると言われていますが、特殊培養条件を必要とする嫌気性菌感染症の検査について整理してみましょう。緊急性を考えながら、“うちの検査室ではここまで検査しよう。ここまでなら検査できる。”その答えを見付けてみましょう。嫌気性菌感染症検査について基礎から最新情報まで事例をもとに御講演頂きます。皆様奮って御参加ください。

日　時：平成16年9月17日(金) 18：30～20：00
場　所：㈱アズウェル本社 8階会議室
　　※会場のお間違えのないようにご注意ください。
テーマ：どうしてますか？どこまでしてますか？
　　嫌気性菌感染症検査
講　師：大垣市民病院 石郷 潮美
参加費：会員 500円、非会員 3,000円（会員証をご持参下さい）
評価点：C－10点
連絡先：㈶阪大微生物病研究会 坂本 雅子
　ＴＥＬ：06-6877-4801
　E-mail：masako@biken.osaka-u.ac.jp

（周辺見取図）



学術部 生理検査部門 機能検査分野からのお知らせ

機　能　検　査　分　野　講　習　会

当直や日直で血液ガスのデータの読み方が判らなくて困っていませんか？
そんなあなたにお勧めします。昨年も好評でした血液ガスの読み方第2弾！を今年も開催します。

日　時：平成16年10月28日(木) 18：30～20：00
場　所：大阪市大医学部4階講義室
テーマ：「これでバッチリ血液ガス。易しいデータの読み方」
講　師：大阪医科大学附属病院 中央検査部　和田 晋一
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：Ｃ－10点
連絡先：大阪市立医学部附属病院 中央臨床検査部　藤岡 一也
　E-mail：kfujioka@msic.med.osaka-cu.ac.jp

2004 9月 大臨技行事予定表

研修A＝日臨技生涯教育点数A
研修B＝日臨技生涯教育点数B
研修C＝日臨技生涯教育点数C

1 水

2 木

研修C-10
形態検査部門 血液検査分野（事前申込み制）「形態セミナーシニア」
場所：あべのメディックス7階 研修室B　時間：18：30～20：00
連絡先(E-mail)：松下記念病院　村瀬 幸生（murase.yukio@jp.panasonic.com）

3 金

4 土

5 日

茨木健康展（2004年みんなの健康展）
場所：茨木市保健医療センター　時間：10：00～16：00　参加費：無料

6 月

研修A-10
大臨技緊急集会
場所：あべのメディックス7階 研修室B　時間：18:30～19:45　参加費：無料
連絡先(E-mail)：大臨技副会長 今井 宣子〔大阪大学医学部附属病院 臨床検査部〕
（imai@osaka-amt.ne.jp）
第一部　標準採血法ガイドライン　講師：JCCLS標準採血法検討委員会委員 朝山 均
第二部　輸血事故防止のために　講師：大臨技学術部移植検査部門長　金光 靖

7 火

2004年10月行事予定・大臨技ニュース締め切り

8 水

研修C-10
生理機能検査部門 画像検査分野 腹部超音波技術研究会
場所：大阪市立大学医学部4階 大講義室　時間：18：30～20：15
会員参加費：500円（年間 2,000円）
連絡先(E-mail)：住友病院　尾羽根 範員（obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp）
1．画像診断へ生かすための組織標本の見方
講師：済生会野江病院　清水 恵子
2．グループ別症例検討

9 木

研修C-10
生物化学検査部門 臨床化学検査分野 講演会
「婦人科領域における内分泌検査の意義」
場所：大阪市立大学医学部4階 小講義室　時間：18:30～20:00　会員参加費：700円
連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院　増田 詩織
（shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp）
1．更年期障害とホルモン補充療法について
講師：バイエルメディカル株式会社 マーケティング部学術企画グループ　白柳 譲
2．絨毛性疾患におけるHCGの測定意義
講師：株式会社三菱化学ヤトロン 診断事業部 DPC・RIAグループ　島田 勉

大臨技理事会　場所：大臨技事務所　時間：18：30～20：30

10 金

研修B-10
検査・管理部門 情報管理分野 講習会「情報系資格を取得するには」
初級シスアド・医療情報技師について
場所：大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
時間：18：45～20：15　会員参加費：500円
講師：大阪メディカルラボラトリー　佐藤 宏美
連絡先(E-mail)：京阪病院　真鍋 史朗（manabe@osaka-amt.or.jp）

11 土

研修C-10
感染・免疫検査部門 寄生虫検査分野 特別講演会
「見逃していませんか？身近な寄生虫」
場所：千里ライフサイエンスセンター6階　603,604号室
時間：14：00～16：30（開場 13：30）　会員参加費：500円
講師：神戸大学医学部 保健学科 病態解析学講座　宇賀 昭二
連絡先(E-mail)：ファルコバイオシステムズ 総合研究所　藤田 拓司
（t-fujita@mail.falco.co.jp）

研修C-15
第9回 近畿輸血検査研修会（事前申込み制）
「輸血の安全性を高めよう」中級者輸血検査実技講習会
場所：和歌山県立医科大学附属病院　時間：11：00～18：00
連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院　金光 靖（yuketsu@med.kindai.ac.jp）

研修C-10
感染・免疫検査部門 微生物検査分野（事前申込み制）
第2回 基礎技術講座 実技編「呼吸器感染症」
場所：大阪市立大学医学部　時間：13：00～18：00
連絡先(E-mail)：(財)阪大微生物研究会　坂本 雅子（masako@biken.osaka-u.ac.jp）

吹田健康展（21回みんなの健康展）
場所：吹田メイシアター　時間：13：00～17：00　参加費：無料

12 日

研修C-15
第9回 近畿輸血検査研修会（事前申込み制）
「輸血の安全性を高めよう」パネルディスカッション
場所：紀三井寺ガーデンホテルはやし　時間：9：00～12：00
連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院　金光 靖（yuketsu@med.kindai.ac.jp）
1．非溶血性副作用について
2．輸血感染症
3．血液センターにおける検査すり抜けに関する調査報告（輸血新法を踏まえて）
4．Ｉ＆Ａの立場から（現状と今後の取り組みについて）
特別講演：人工血液の実用化に向けて

研修C-10
感染・免疫検査部門 微生物検査分野（事前申込み制）
第2回 基礎技術講座 実技編「呼吸器感染症」
場所：大阪市立大学医学部　時間：9：00～15：00
連絡先(E-mail)：(財)阪大微生物研究会　坂本 雅子
（masako@biken.osaka-u.ac.jp）

12 日

豊中市民健康展（第29回 健康とよなか21）
場所：豊中市民会館、中央公民館　時間：10：00～16：00　参加費：無料
吹田健康展（21回みんなの健康展）
場所：吹田メイシアター　時間：9：30～16：00　参加費：無料

13 月

14 火

15 水

16 木

情報組織・地区事業部合同部会　場所：大臨技事務所　時間：18：30～20：30

17 金

研修C-10
形態検査部門 細胞検査分野 定期講習会（ジュニアコース）「乳腺・甲状腺の細胞診」
場所：大阪府立成人病センター本館6階講堂　時間：18：45～20：15
会員参加費：500円　講師：大阪大学医学部附属病院 吉村英雄
連絡先(E-mail)：大阪府立成人病センター　芦村 純一（asimura-ju@mc.pref.osaka.jp）

研修C-10
感染・免疫検査部門 微生物検査分野 定期講習会
「どうしてますか？どこまでしてますか？嫌気性菌感染症検査」
場所：(株)アズウエル本社 8階会議室　時間：18：30～20：00
会員参加費：500円　講師：大垣市民病院　石郷 潮美
連絡先(E-mail)：(財)阪大微生物研究会　坂本 雅子（masako@biken.osaka-u.ac.jp）

18 土

19 日

20 月

21 火

渉外部会　場所：大臨技事務所　時間：19：00～20：30

22 水

研修C-10
形態検査部門 一般検査分野講習会「尿沈渣スライドテスト」
場所：クレオ大阪中央セミナーホール　時間：18:45～20:15　会員参加費：500円
講師：国立病院機構京都医療センター　佐伯 仁志
連絡先(E-mail)：市立吹田市民病院　佐々木 正義（makko@abox4.so-net.ne.jp）

23 木

24 金

25 土

研修C-10
生理検査部門 画像・機能検査分野合同 超音波検査研修会（心臓、頸部エコー）（事前申込み制）
〈講義〉「日常検査に生かす標準的な検査法の習得～あなたの検査法は間違っていませんか？～」
場所：関西医科大学病院　時間：9：30～19：40
講師：関西医大　岩坂 壽二／大阪市大　室生 卓／(有)キクダ　菊田 憲二
京都民医連病院　山口 俊朗／公立丹南病院　塚田 孝法／大阪市大　中尾 滿 ほか
連絡先(E-mail)：大阪市立大学医学部附属病院　藤岡 一也（kfujioka@msic.med.osaka-cu.ac.jp）

26 日

研修C-10
生理検査部門 画像・機能検査分野合同 超音波検査研修会（心臓、頸部エコー）（事前申込み制）
〈実技〉「日常検査に生かす標準的な検査法の習得～あなたの検査法は間違っていませんか？～」
場所：関西医科大学病院　時間：9：30～15：30
連絡先(E-mail)：大阪市立大学医学部附属病院　藤岡 一也（kfujioka@msic.med.osaka-cu.ac.jp）

27 月

28 火

研修C-10
生物化学分析部門 免疫検査分野 定期講習会
「輸血後の感染症検査－特にHBVについて－」
場所：大阪医療技術学園専門学校 講義室　時間：18：30～20：00
会員参加費：500円　講師：大阪市立大学附属病院 輸血部　北橋 繁
連絡先(E-mail)：大阪医科大学附属病院　上田 一仁（uedaya@poh.osaka-med.ac.jp）

29 水

研修C-10
感染・免疫部門 疫学検査分野 第2回 定期講習会
「腸内フローラと腸管出血性大腸菌O157」
場所：大阪市立大学医学部 4階 中講義室　時間：18：30～20：00
会員参加費：500円　講師：大阪市立大学大学院 生活科学研究科 助教授　西川 禎一
連絡先(E-mail)：(財)大阪市環境保健協会 検査室　福山 博文（yuka6-16@zeus.eonet.ne.jp）

30 木

研修C-10
生理検査部門 神経生理分野 定期講習会
「技師の知っておきたい脳外科疾患の検査から診断・治療～SAHから脳死まで～」
場所：大阪市立大学医学部4階 小講義室2　時間：18：30～20：00
会員参加費：500円　講師：関西医科大学脳神経外科講師　稲垣 隆介
連絡先(E-mail)：大阪市立大学医学部附属病院　藤岡 一也（kfujioka@msic.med.osaka-cu.ac.jp）

研修C-10
感染・免疫検査部門 ウイルス検査分野 定期講習会
「上気道感染の簡易キットによる迅速検査」
場所：大阪医療技術学園専門学校　時間：18:30～20:00　会員参加費：500円
講師：大垣市民病院　石郷 潮美
連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院　岡田 和敏（kz-okada@kensa.med.kindai.ac.jp）
1．抗マイコプラズマ抗体（IgM）
講師：株式会社テイエフビー 技術開発部 テクニカルインフォメーションセンター　福島 靖恵
2．インフルエンザウイルス
講師：富士レビオ株式会社 商品開発部　皆川 英孝
3．アデノウイルス
講師：株式会社アズウェル 大阪支店 診断薬グループ　横川 禎一
4．ＲＳウイルス
講師：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 学術情報部　國見 昌生

携帯からでも行事予定表を見ることができます！ アドレスはこちら。http://www.osaka-amt.or.jp/

もっと素晴しい健康を
AZWELL 株式会社アズウェル

本　　社　大阪市中央区石町二丁目２番９号　06－6942－6300
中央支店　大阪市中央区石町二丁目２番９号　06－6942－6313
門真支店　門真市松生町４番６号　06－6909－7637
阪南支店　和泉市小田町１６８番地の１　0725－45－0721

学術部 生物化学分析部門 臨床化学検査分野からのお知らせ

臨 床 化 学 検 査 分 野 講 演 会

「婦人科領域における内分泌検査の意義」

日　時：平成16年９月９日(木) 18：30～20：00
場　所：大阪市立大学医学部４階 小講義室
内　容：１．更年期障害とホルモン補充療法について
バイエルメディカル株式会社 マーケティング部学術企画グループ 白柳 譲
２．絨毛性疾患におけるＨＣＧの測定意義
株式会社三菱化学ヤトロン 診断事業部　DPC・RIAグループ 島田 勉
参加費：会員 700円、非会員 3,000円
評価点：Ｃ－10点
連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織
TEL＆FAX：072-360-2344　E-mail：shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp

学術部 検査・管理部門 情報管理分野からのお知らせ

◆◆◆◆◆ 情報管理分野 講習会 ◆◆◆◆◆

情報管理分野では、毎年秋～冬に実技講習会を開催してきましたが、今年は趣向を変えて、10月～２月にかけて８回シリーズの初級シスアド講座を開講することになりました。

しかし、まだ「初級シスアドって何？」という方もおられるかと思いますので、先に、この資格について知ってもらうために「初級シスアドについて」という特別講演会を行います。

検査の現場で、なぜこの資格が必要になるのか、どのような試験が行われているのか、どのように勉強すれば合格できるのか、などについて、実際に資格をとった臨床検査技師が講演します。

また、同時に「医療情報技師」の資格制度についてもお話をしていただく予定になっていますので、大勢の方々のご参加をお待ちしております。

最新の情報は以下のページに記載しますので、そちらもご参照ください。

◆ http://www.osaka-amt.or.jp/annai/040910.html

日　時：平成16年９月10日(金) 18：45～20：15
場　所：大阪医療技術学園専門学校 ２階大教室
（市営地下鉄谷町線・堺筋線 南森町駅 徒歩10分）
テーマ：情報系資格を取得するには
内　容：初級シスアド・医療情報技師について
講　師：大阪メディカルラボラトリー 佐藤 宏美
参加費：会員 500円、非会員3,000円
評価点：Ｂ－10点
連絡先：京阪病院 真鍋 史朗
E-mail：manabe@osaka-amt.or.jp

学術部 形態検査部門からのお知らせ

細 胞 検 査 分 野

細胞診定期講習会(ジュニアコース)

日　時：平成16年９月17日(金) 18：45～20：15
会　場：大阪府立成人病センター本館６階講堂
内　容：乳腺・甲状腺の細胞診
講　師：大阪大学医学部附属病院 吉村 英雄
評価点：Ｃ－10点
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
連絡先：大阪府立成人病センター細胞診 芦村 純一
ＴＥＬ：06-6972-1181
E-mail：asimura-ju@mc.pref.osaka.jp

評価点＝日臨技生涯教育点数

■■ 一般検査分野講習会 ■■

９月の当分野の講習会は「尿沈渣スライドテスト」を実施いたします。尿沈渣の基礎知識の整理や確認に役立つ内容です。皆様のご参加をお待ちしております。

日　時：平成16年９月22日(水) 18：45～20：15
出題・解答者：国立病院機構京都医療センター 京臨技形態部門 一般検査分野分野長 佐伯 仁志
会　場：クレオ大阪中央セミナーホール
参加費：会員（申請中・賛助含む）500円（会員証をご持参下さい）
非会員 3,000円
評価点：Ｃ－10点
連絡先：市立吹田市民病院 中央検査部 佐々木 正義
ＴＥＬ：06-6387-3311（内線 3200）
E-mail：makko@abox4.so-net.ne.jp

学術部 移植検査部門 生殖医療技術分野からのお知らせ

生殖医療技術分野 特別公開講座 『ここまで来た!!! 不妊治療最前線』

不妊治療について、最新の話題をわかりやすく講演していただきます。一般の方の参加もお待ちしております。

日　時：平成16年10月30日（土）14：00～16：00
場　所：大阪中央病院 13階大会議室
　　［ＪＲ大阪駅・地下鉄西梅田駅・阪神梅田駅・市バス梅田駅から徒歩約７分
　　［ＪＲ福島駅・阪神福島駅から徒歩約５分
講　師：大阪中央病院 中央検査部 内野 義彦
　　大阪中央病院 婦人科医長 坂井 昌弘
参加費：会員・非会員共 500円
評価点：Ａ－10点（必ず会員カードをご持参ください）
連絡先：大阪New ARTクリニック 宮田 広敏　E-mail：byx02006@nifty.ne.jp

大臨技ホームページ掲載要項

大臨技ホームページ（http://www.osaka-amt.or.jp）に掲載を依頼する場合は、下記の要領で申し込んでください。
掲載内容を審査のうえ掲載の採否を当会総務部長決裁にて決定させていただきます。

１．申し込み者の資格

１）大阪府臨床検査技師会会員および日本臨床衛生検査技師会会員（大阪府臨床検査技師会との共催が原則）
２）当会が認める関連団体注）の関係者

２．掲載内容に関して

１）掲載する内容は当会会員に有用な情報に限ります。
２）以下の該当項目については掲載をお断りします。
- 営利目的
- 第三者への誹謗
- プライバシーの侵害
- 著作権等の法令に定める権利の侵害
- 暴力関連
- 宗教関連
- 政治関連
- システムの破壊および正常な運用の妨害につながる情報
- その他、法令および社会的慣行に反する内容

３．掲載原稿の作成方法

１）Microsoft Wordまたはテキスト形式で作成してください。
２）機種依存文字は使用しないでください。
３）画像ファイルの拡張子は、jpgまたはgifとしてください。

４．申し込み方法

１）上記の方法で「掲載原稿」を作成してください。
２）WEB上で下記ボタンを押下することにより表示される「大臨技ホームページ掲載申請書」に必要事項を入力してください。
３）「掲載原稿」と「大臨技ホームページ掲載申請書」を添付して大臨技ホームページ掲載申込専用メールアドレス（keisai@osaka-amt.or.jp）までメールで送信してください。

注）当会が認める関連団体とは

①日本臨床衛生検査技師会の関連学会および団体。
②大阪府地域医療推進協議会の構成団体。
③以下に示す研究組織。
- 医学および臨床検査技師の職能に関する研究を主目的とし、会則等にその研究目的が明示されていること。
- 会員の構成は、特定の単独医療機関に所属している医療担当者に限定されていないこと。
- 明確な研究および活動計画を有し、定期的にその活動が行われていること。

④その他、当会の理事会で承認された団体。

涉外部報告 第４回 糖尿病療養指導士講演会開催される

７月10日に“アピオ大阪”にて第４回糖尿病療養指導士講演会が開催されました。

暑い土曜日にもかかわらず、前回よりさらに多い90名の方が参加され質疑応答も含め有意義な講演会となりました。前回と同じく、当日参加された技師の方より感想文をいただきましたので報告させていただきます。

■第４回糖尿病療養指導士講演会に参加して

兵庫県立尼崎病院 検査部　鈴木 まき子

講演を聴き、生活習慣病としての糖尿病の療養に対して、いかにチームとしての活動が必要かということを再確認しました。また、３人の先生方がチーム医療の中で各々の立場で頑張っておられる事に感動しました。

栄養指導や糖尿病教室などは、流行的にいろいろな施設で開催されていますが、NST（Nutrition Support Team 栄養サポートチーム）において、検査技師の実際の活動を聴いて、この仕事の重みと幅広いチームワークが必要であることを痛感しました。そして、積極的なDPC（Diagnosis Procedure Combination 診断手順分類）の利用も、チームワークの統制に役立っていると思われました。

私は４年前に糖尿病療養指導士の認定を受けましたが、実質の活動は今年３月から始めたところです。チーム医療（チームでのミーティング等）としては、まだまだ活動できていないのが現状で、この講演を参考にして頑張りたいと思います。

ますます高度化する医療界を担うコメディカルの一員として、チーム医療に検査技師が参画する事は、技師の発展、及び向上につながる事だと思います。私は兵庫県下から参加しましたが、兵庫県の臨床検査技師会も自己の医療職研修単位を所得できる講演会等の企画をしていただける様に働きかけたいと思います。

● 次回、第5回は10月30日に開催予定です。また詳細については大臨技ニュースを通じて報告します。●

情報組織部報告

７月17日に開催された、「第４回大臨技フォーラム」参加者の感想文を紹介いたします。

「第４回　大臨技フォーラムに参加して」

大阪血清微生物研究所　片山 智永子

今回、初めて阪南パラドームで開催された、大臨技フォーラムに参加させて頂きました。暑い中、多数の方が参加されており、第１部のチーム医療で「内視鏡技師」「病棟回診」「NST（栄養サポートチーム）」と興味があり聞かせて頂きました。

内視鏡技師というスペシャリストの道もあり、またチーム医療として他職種の方と協力して患者様の検査・治療にあたることの大切さを痛感いたしました。

病棟回診・NSTなど検体だけを見て検査・報告するよりも、患者様に接し状態を確認することで、検査データを深く読む事が出来、信頼性の高い報告がなされると感じました。検査技師がチーム医療に参加することにより、検査業務に支障が生じることがありますが、問題を乗り越え検査技師もチーム医療の一員として積極的に参加することの大切さを感じました。

また、第5部の特別講演で森脇先生の経営者側からのお話も聞く事ができ、長時間に渡るフォーラムでしたが、とても充実した内容でした。これからも是非、参加したいと思います。

大阪血清微生物研究所　石川 淳子

先日、第４回大臨技フォーラムに初めて参加させて頂きました。内容は、チーム医療・提供責任・厚生行政・精度保証など、最近話題のクリニカルパスや包括医療で、検査センター勤務の私には、とても濃く難しい話でした。その中で、とても興味を持ったのがチーム医療・NST（栄養サポートチーム）です。今まで栄養管理は、医師や栄養士が行っていると思っていましたが、臨床検査技師や薬剤師、言語療法士がメンバーで驚きました。それぞれ担当の方が、意見を出し合って患者様の疾病の早期発見・早期治療につながり、やる気と熱意を持って接すれば私たち医療従事者のレベルアップにつながると思います。貴重なお話有難うございました。

♦♦♦ 渉外部報告 平成16年 夏季献血ボランティア開催される ♦♦♦

7月24日、大臨技の定期行事となった献血ボランティアが難波グリーンガーデンで開催されました。当日は36℃を越える暑い日でしたが、その中で多くの技師会員が自ら進んで献血をしたり、献血活動の啓発を道行く人に声掛けをしました。その甲斐あって当日は暑い一日ではありましたが、受付者数102名、献血者は81名という結果が得られました。尚、当日参加した方からの生の感想文をいただきましたので報告させていただきます。

献 血 活 動 に 参 加 し て

大阪警察病院附属人間ドッククリニック　森川 真弓

7月24日土曜日、難波グリーンガーデンでおこなわれた献血推進活動に参加しました。35℃を超える暑さの中、「献血にご協力ください」とうちわやティッシュを配りました。

私は今まで献血に行ったことが無く、献血バスを見つけても素通りするだけでした。この活動にも今回初めて参加させて頂きましたが、思った以上に多くの方が献血に関心を持っているのだということに驚きました。

活動を始めるとすぐに献血をしに来てくださりとても嬉しく思いました。友達同士で声を掛け合って来る人を見ると、これまで献血にあまり関心のなかった自分が恥ずかしく思えました。

しかし反響が良かった反面、60分以上もの長い待ち時間が生じた時に、待ちきれずに途中で諦めて帰ってしまう人がいたことで、折角のご好意を無駄にする結果になってしまった事はとても残念に思いました。

残念ながら私は体調が優れず献血する事ができませんでしたが、是非次の機会に献血したいなぁと思います。また、こういう活動に更に多くの技師の方に参加して頂けたらなぁ…と思います。

● 次回は冬の血液が不足している時期に行う予定です。また詳細については大臨技ニュースを通じて報告します。●

リレーエッセイ バトンタッチ

笑いの力

忙しい毎日、ストレス溜まってるな…と感じたときの私のお手軽解消法は美味しいものを食べること、買い物、そして“笑う”ことだ。

幸い、私の周りには　さっむ〜いおやじギャグや天然ものまでキャラがそろっていて笑いのネタは尽きないのである。あぁ、悩んでる私のほうがあほくさっ！とばかりガハハと大口開けてストレスも一緒に笑い飛ばしている。そうすると心も軽くなるようだ。

たかが“笑い”。でもあなどれない。

笑うと腹筋が鍛えられ胃腸トラブルの解消から自律神経の変化、はてはNK細胞の増加によるガン予防にまでなるそうでとっても身体にいいんです!!

多忙に日々を送る皆さん、たまには大声でガハハッと、それはちょっとねって方はまず笑顔から…。
笑って元気に暑い夏を乗り切りましょう！

（泉佐野優人会病院　田畑 佳代）

知って得する ウェブサイト Website

世界の定置カメラ

http://home.att.ne.jp/red/nuka/camera.htm

日本はもちろん、世界各地にある定点カメラの画像を見ることができます。旅行へ行きたくても行けない、パスポートは持ってないけど海外へ行ってみたい…「80日間世界一周」のテーマを聴きながら、Web上でトリップ!?（サイトによってはプラグインのプログラムをインストールする必要があります）

とほネットワーク旅人宿の会ホームページ

http://www.toho.net/index.html

比較的安価で、男女別相部屋が中心の「とほ宿」紹介のホームページ。一人旅でも気軽に泊まることができて、宿では旅人同士の情報交換などの交流がしやすいのが「とほ宿」。北海道を中心に全国にあります。の〜んびりしたい旅の時にはお勧めですよ〜！（男女別相部屋が基本ですが、希望すれば家族単位や個室利用でもOKな場合もあります）

「電車男」の物語

http://www.geocities.co.jp/Milkyway-Aquarius/7075/trainman.html

「冬のソナタ」など純愛ブームですが、これは、電車内で起こったある事件に巻き込まれた男が、それをきっかけに生まれ変わっていく様を描いた、感動の物語です。２ちゃんねるの書き込みがベースになっていて、ちょっとクセがありますが、新しい文学の形を予感させるものになっています。

Cool Down

～ＰＬ花火大会～

関西の人なら誰もが知ってる毎年８月１日に開催されるＰＬの花火大会。私は今年初めてそれを観に行った。今までも「観に行きたいな～」と思ったことは何度もあった。噂に聞くところ打ち上げ数約12万発。そこらへんの花火大会とは規模が違うという。だがしかし花火の規模に比例して観客数は約30万人。それでも今年こそは行ってみようかと考えてたある日「ＰＬの花火観においで。富田林の会社のビルの屋上から見えるから」というお誘いを受けた。なんとラッキーな！飲みの誘いより嬉しいかもしれない。今年のＰＬ花火は日曜日。例年以上の人手が予想される。そんな中ビルの屋上からゆったり観れるのだ。ありがたくお誘いを受け、当日15時に南海難波駅に向かうとそこはＰＬの花火に行く人々で溢れ返っていた。15時の時点で南海がこんな有様じゃＪＲ天王寺はどうなってるんだ。とりあえず電車に乗って待ち合わせの会場へ向かった。屋上へ上がるとその会社の社員たちが家族らと一緒にシートを敷いて横になって寛いでいる。私たちもさっそく同じようにしてビールを飲んだりして始まるまでまったり。視界をみると何も遮るものがない。空には綺麗な満月が。台風の影響で若干の風は吹いていてビールで酔ってる身体には心地よい。そしていよいよ打ち上げ開始。オープニング花火がバババン！と上がるとその近さと打ち上げ数に感動！普通の花火大会のフィナーレがずっと続いているような感じなのだ。フィナーレとなると一瞬周りが明るくなるほどの迫力である。いや～こんな絶好なポイントから観れたなんて本当に感謝だ。来年はもっと近くで観てみたいような気もするが、今回花火が終わってちょっと寄り道をして自宅に帰ると時間は午前２時だった。ちょっとだけ疲れたけどそれでも観る価値があるという噂が本当だったのがわかった。まだ観たことない方は終電を諦める覚悟でぜひ観てください。(今田晶子)

大臨技事務局よりお知らせ

「入会申込書」記入についてのお願い

☆ **届出年月日・担当者等の記入欄は空欄にしてください。**

☆ **発送物の送付先について**

【会誌等の送付先は、原則として登録先といたします。】

施設会員の方は、発送物の送付先をなるべく施設にご指定くださるようご協力ください。

（やむを得ぬ事情により自宅送付を希望の場合は自宅発送も可）

☆ **「臨床検査技師免許番号」「取得年月日」を忘れずにご記入ください。**

◎ 申請中の場合は臨床検査技師免許の欄に申請中と記入し、後日、速やかに大臨技事務所までご連絡ください。

入会申込書送付先	〒545－0051 大阪市阿倍野区旭町１－１－28　ニチマンビル４Ｆ 社団法人　大阪府臨床検査技師会　宛（FAX不可）

○会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送でお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、会誌「医学検査2004年１月号Vol.53、No.1」に掲載されています。

○特に住所変更については、必ず届出をしてください。
届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

大臨技公印の押印を依頼する場合は、送付先住所と氏名を記載した返信用封筒を同封の上（切手不要）、事務所宛郵送でお申し込みください。なお、事務所まで直接持参されても受理はいたしますが、押印はすぐにはできないことを予めご了承ください。

皆さんのご意見、情報等お待ちしております。

FAX：06-6644-1128　E-mail：imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

10月号の原稿〆切は **９月７日（火）**、11月号は **１０月５日（火）** です。